

令和 6 年度（2024 年度）

天草市立キリシタン資料館年報

ANNUAL REPORT No.6
2024.4-2025.3

2025年 6月

天草市 観光文化部 文化課
世界遺産・キリシタン資料館係

目 次

ごあいさつ.....	1
1. 活動方針.....	2
2. 運営委員会.....	5
3. 資料館活動	
(1) 企画展等.....	6
(2) 講演(セミナー)・講座・体験学習等.....	8
(3) イベント等.....	9
(4) 刊行物.....	11
(5) 視察・研修受け入れ.....	11
(6) その他.....	12
4. 資料収集	
(1) 寄贈資料.....	13
(2) 購入資料.....	13
(3) 寄贈図書.....	14
(4) 購入図書.....	15
5. 教育普及活動	
(1) 博物館実習等の受け入れ.....	16
(2) 館内見学の受け入れ(市内学校).....	16
6. その他の活動	
(1) 各機関との共同事業.....	18
(2) 情報発信.....	18
(3) 取材対応.....	19
(4) 資料画像提供.....	19
(5) 工事・修繕.....	20
(6) その他.....	21
資料	
1. 来館者動向.....	24
2. 企画展・セミナー・講座等アンケート結果.....	27
3. 天草キリシタン館企画展関連セミナー講演内容(概要).....	30
4. 施設概要・担当職員.....	37
5. 天草市立キリシタン資料館条例.....	38

ごあいさつ

地方自治体が設置した博物館類似施設の多くは、人口減少と高齢化が進むなかで職員配置、施設維持、予算など厳しい運営となっているのではないのでしょうか。このような時代において、あらためて地域での博物館の位置づけと存在意義を確認し、文化・教育・地域・観光の振興を担う施設として、どのように役割を果たすべきかと考えています。

令和6年度の天草市立キリシタン資料館は、天草キリシタン史等の映像制作や4館のリーフレットのリニューアルをはじめ、収蔵品管理や展示資料の英語解説としてデータベース（ポケット学芸員）を導入しました。現在、中国語、韓国語での解説も目指しているところです。また、企画展やワークショップ、講演会などを開催し、広く天草キリシタン史の周知啓発に努めていますが、入館者の増加には至っていません。

キリシタン資料館の管理運営体制については、これまで市議会においても一般質問がなされ、資料館の活性化を目指し、民間活力の導入について検討してまいりました。「所蔵資料の重要性、借用資料の管理などを総合的に考え、資料管理・調査研究は行政が担当し、施設の管理運営については民間活力の導入を進める」という方向性を、令和7年2月の運営委員会です承いただき、これからは業務内容の整理などに取り組むこととなります。

このような中、昨年8月に西南学院大学博物館で開催された、創られた像（イメージ）―排邪宗書・実録・虚構系資料―は、キリシタンの歴史とキリシタンのイメージをたどるもので、とりわけ虚構系資料は信心具を模倣した資料（偽物）と位置づけ、これら展示したものでした。あらためて資料館の基礎となる資料台帳整備、信心具としての根拠を確認することの重要性を認識し、天草市の各館が収蔵する資料について検証し、データベースとして公開するよう準備を進めたいと思います。

結びに、令和6年度のキリシタン資料館活動において、お世話になりました崇城大学教授の関根浩子氏、南島原市教育委員会参事（学芸員）の伊藤健司氏、東海大学教授の阿部正喜氏、大阪大学教授の岸本恵実氏、青羽古書店代表の羽田孝之氏、造形作家の gaju（松岡志保）氏、熊本県立天草工業高等学校校長の西村洋信氏をはじめ、ご尽力いただきました皆様、図書や資料をご寄贈いただきました方々に対し、深く感謝申し上げます。

令和7年6月30日

天草市立キリシタン資料館 館長 平田 豊弘

1. 活動方針

天草におけるキリシタンの歴史と文化を広く伝えるため、天草市立キリシタン資料館として「天草キリシタン館」「天草ロザリオ館」「天草コレジヨ館」「崎津資料館みなと屋」の4つの施設を設置しています。

天草市立キリシタン資料館では、将来像や基本方針に基づき、各施設の展示テーマを設定し、歴史・文化をわかりやすく紹介するとともに、「教育・研究・楽しみの場」を提供し、その価値の理解と共感、保全活動へとつなげていきます。

①将来像

キリシタン資料館では、これまでの現状や課題、提言等を踏まえ、基本的な目指す姿（将来像）を次のとおり設定しています。

地域に根ざし 世界につながる
（天草キリシタンの歴史と文化を伝える）

②基本方針

将来像の実現に向け、取り組むべき基本方針を次のとおり定めています。天草のキリシタンの歴史・文化を深く知るための資料館として、資料の「保存・研究・伝達・展示」を機能させ、地域住民や県外・世界中から訪れる人に「教育・研究・楽しみの場」を提供し、その価値の理解と共感、保全活動へとつなげていきます。

（１）組織・運営に関すること

〔効率的な管理運営体制の構築〕

天草キリシタン館、天草ロザリオ館、天草コレジヨ館および崎津資料館みなと屋が共通認識のもと、より効果的・効率的に事業展開を進めるために、一元的な管理運営体制を構築します。

（２）施設・管理に関すること

〔施設の適正な管理と整備〕

資料館は、歴史的価値のある貴重な資料を多く保有し、調査・研究を行う施設です。また、その成果を公表し、重要な文化的資料を借用し、企画展や特別展を開催することにより多くの方が訪れる施設でもあります。貴重な資料を安全に保管できる資料館、貸し出すことへの信頼性を得る資料館、安心して観覧できる資料館とするためにも、施設の適正な管理と整備に努めます。

（３）資料・展示に関すること

〔展示テーマの明確化と魅力ある展示の実施〕

観光客および市民に対し、資料館や世界遺産への再来訪と来館者の回遊性を促すため、天草市内に点在するキリシタン資料館に、それぞれの展示テーマとそれを表現する代表的な展示品を設定し、よりわかりやすく、より特色のある常設展の更新や企画展を開催します。また、展示の更新にあたっては、パネル・映像等のほか、よりキリシタン史の理解を促進するよう、VR・AR等のデジタル技術を用いたコンテンツを導入し、体験学習等に活用します。さらに、展示図録等の作成を行うことにより、展示資料に関する、より深く詳細な情報の提供にもつなげます。

〔資料の適正な管理と収蔵庫機能の更新、台帳の整備〕

貴重な資料を適切に保存するためには、安定した保存環境と、それを維持するための専門知識を有する学芸スタッフの配置が必要です。また、材質・形状・保存状態に応じた資料の取り扱い方法や、温湿度の管理に関する研修等の実施、ノウハウの蓄積、通常の業務における訓練といったスタッフ教育が必要となります。さらに収蔵設備についても、他館から資料を借用できる設備がないことから、状況に応じて整備します。

なお、資料管理の効率化のため、4館共通フォーマットの台帳整備を行い、デジタルミュージアム等に活用します。

〔調査・研究の充実と体制の構築〕

計画的に資料の調査を実施し、地域に根ざした研究を進めます。また、大学や研究者への情報提供や共同研究を行うことでさらなる研究の発展を図ります。そうした研究結果を各館での特別展や常設展に活かし、魅力的な館の運営につなげます。このような活動を効率的に実施するにあたり、学芸員の増員、各館への配置に努め、大学や研究機関等と連携し、必要な研究体制を構築します。

（４）情報発信に関すること

〔情報発信の充実〕

天草市の資料館と、その収蔵する資料の価値を効果的に伝えるために、キリシタン資料館の各館が連携して発信を行います。基本的には天草キリシタン館が総合的な情報の収集と発信を行うこととし、天草ロザリオ館・天草コレジヨ館・崎津資料館みなと屋は、より詳細な自館の情報を発信します。

（５）保全意識の醸成に関すること

〔価値の理解・保全意識の醸成〕

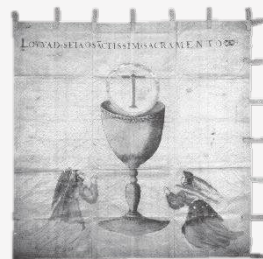
世界遺産を含め、貴重な文化財を保存し、次世代へ継承していくためには、天草市民や来訪者がその価値を理解し、共感し、さらには保全活動へつなげる必要があります。そのため、キリシタン資料館において、市民が気軽に訪れる教育・研究の場を提供し、今後設立する予定の友の会や支援団体と協働しながら、価値の理解を促すとともに、保全意識を育む活動を推進します。

③各館の展示テーマ

天草キリシタン館

祈り～時空を超えて～

天草へのキリスト教布教から禁教・弾圧、潜伏そして解禁までの全体像を俯瞰し、世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」との関連性を理解できる展示を行い、他3館への周遊を促す仕組みを構築します。

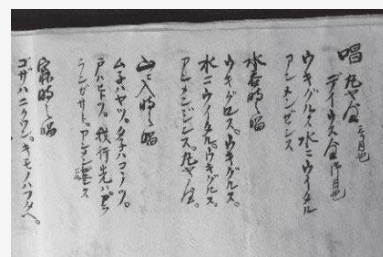


天草四郎陣中旗

天草ロザリオ館

共生～信仰としなやかな心～

潜伏キリシタンの暮らしや信仰具などの情報を充実させるとともに、象徴的な展示である「隠れ部屋」に関するストーリーを際立たせるよう展示を整理することで、「しなやかな信仰」によって、信仰を続けられたことを理解できるようにします。



オラシヨ（祈りのことば）

天草コレジヨ館

交流～世界に広がる文化の受容～

キリスト教宣教師を養成する教育機関（コレジヨ）が天草に設置されたことの意義と、天正遣欧使節の果たした役割などの情報を充実させるとともに、ルイス・デ・アルメイダの功績や代表的な展示物である「グーテンベルク印刷」と「西洋古楽器類」の展示によって、その魅力や価値を伝えます。



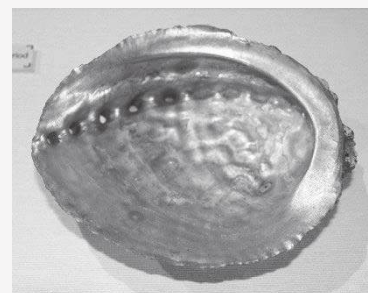
グーテンベルク印刷機

崎津資料館みなと屋

世界文化遺産

～住む人に誇りを、訪れる人に感動を～

世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の顕著な普遍的価値や概要をはじめ、密集した漁村集落の形態を保存し、潜伏キリシタンが他宗教と共存しつつ信仰を続けてきた痕跡を有する崎津と、集落内にキリスト教関係の史跡を含む今富が互いに補完しあうことで生活を営んできたことを伝えます。



アワビの貝殻

2. 運営委員会

運営委員（敬称略）※令和7年3月31日時点

役 職	氏 名	所 属 等
委 員 長	林田 龍太	熊本県立美術館学芸普及課 課長
副委員長	関根 浩子	崇城大学芸術学部 教授
委 員	里村 真理	熊本市現代美術館 学芸員
	小堀 俊夫	肥後の里山ギャラリー 館長
	有馬 恭彦	天草市立栖本中学校 校長

第1回委員会

と き：8月2日（金）15：00～

ところ：熊本県伝統工芸館 2階会議室

議 題	① 令和5年度事業報告と令和6年度事業計画について ② キリシタン資料館整備活用計画（令和6年度）について ③ 各館の開館時間の変更について	④ 資料評価委員会委員の選出について ⑤ 資料の収集について
要 旨	・天草四郎陣中旗公開展示は、宿泊施設や飲食店などと連携することで、さらなる誘客につなげることができると考えるので検討してほしい。 ・天草キリシタン館、天草ロザリオ館、天草コレジヨ館については、開館時間が午前8時30分からとしているが、その時間帯の入館状況や県内の他博物館の状況を踏まえ、令和7年度からは午前9時の開館を検討している。 ・資料評価委員会設置要綱を定め、委員を本運営委員会から選出することとしているが、より専門的な立場からの評価が必要と考えるため、委員構成を再検討してほしい。 ・天草キリシタン館に書状寄託の相談があった。専門家からは「貴重な資料」との高い評価。企画展等への活用を視野に入れ、借用または購入を検討する。	

第2回委員会

と き：2月27日（木）13：30～

ところ：天草市複合施設こくらす 会議室 A

議 題	① 令和6年度事業経過報告と令和7年度事業計画案について ② キリシタン資料館整備活用計画の進捗状況について ③ キリシタン資料館の管理運営における今後の方向性について	④ 天草キリシタン史映像制作の状況について ⑤ 資料の収集について ⑥ その他
要 旨	・入館者の状況については、日本人観光客の伸び悩みがあるが、外国人観光客、特に台湾からのお客さまは徐々に増加していると感じる。多言語対応については、データベース導入に伴うアプリにより対応予定。わかりやすい日本語表記なども検討が必要である。 ・施設/設備の工事や修繕が予定より多くなっているが、これは来年度実施予定のものを前倒しして実施した。 ・資料館の管理運営における今後の方向性については、指定管理者制度の導入を検討。導入するとなれば費用対効果に対する検証を定期的に行っていく必要がある。市が学芸業務に専念することも目的の一つだが、これは見失わないようにしてほしい。学芸員はそういう環境が与えられたら、研究成果の発信を継続的にやっていかなければならない。	

3. 資料館活動

(1) 企画展等

①「世界のお宝フォトコンテスト」受賞作品展

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録5周年を記念して開催された「世界のお宝フォトコンテスト」の受賞作品を展示した。

期 日：4月6日(土)～5月26日(日)

ところ：つどい処まつだ

②国指定重要文化財「りんず じ ちゃくしよくせいたい ひ せき ず さしもの あま綸子地著色聖体秘蹟図指物くさし ろうじんちゅうき(天草四郎陣中旗)」公開

天草キリシタン館では、年4回、国指定重要文化財「天草四郎陣中旗」の公開展示を行っている。実物を展示することで、島原・天草一揆の背景や天草のキリシタン史について、より深い理解と興味を持ってもらうきっかけとした。

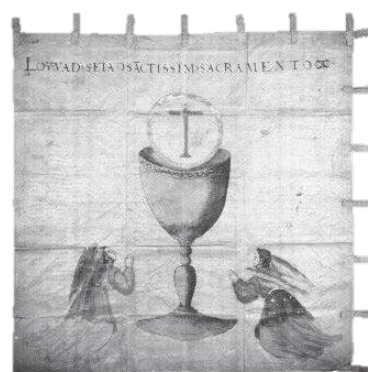
期 間：5月1日(月)-7日(日)/8月1日(火)-7日(月)/

11月1日(水)-7日(火)/3月1日(金)-7日(土)

ところ：天草キリシタン館

来場者：5月-1,179人/8月-513人/11月-789人/3月-567人

合計 3,048人



「綸子地著色聖体秘蹟図指物」
(天草四郎陣中旗)

③恋する牛深フォトコンテスト入賞作品展

牛深にある日常の魅力を再発見することを目的に実施した「見たい！食べたい！恋する牛深フォトコンテスト」の入賞作品を展示。天草を巡ってもらうきっかけづくりの一つとして実施。

期 日：6月1日(土)～8月25日(日)

ところ：つどい処まつだ

④「築山節生ポストカード」作品展

旅を愛し、九州を中心に各地を巡った築山節生。市が所蔵する昭和30～40年代の築山節生の作品の中から、天草の風景やキリシタンにまつわるポストカードを展示した。

期 日：8月31日(土)～11月24日(日)

ところ：つどい処まつだ

⑤「天草四郎陣中旗」国の重要文化財指定 60 周年記念 令和 6 年度天草キリシタン館企画展「天草キリシタンの美術と史実 —天草四郎陣中旗と原城—」

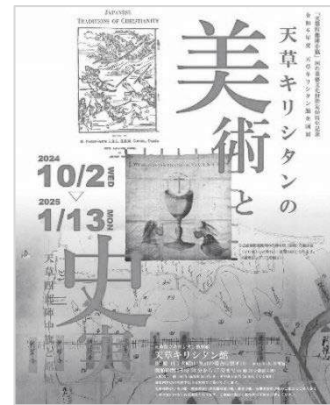
「天草四郎陣中旗」は、昭和 39 年 1 月に国指定重要文化財に指定され、令和 6 年で 60 周年を迎えた。これを記念し、図像学・美術史の視点から見た天草四郎陣中旗について、また、天草四郎と島原・天草一揆について古文書や典籍を解説し、一揆の実像と伝承を紹介した。

期 間：10 月 2 日(水)-1 月 13 日(月)

ところ：天草キリシタン館

出典数：35 点

来場者：7,756 人



「天草キリシタンの美術と史実」チラシ

⑥文化的景観 20 周年パネル展

文化的景観が、文化財保護法に基づく文化財となって 20 周年を迎えるにあたり、文化的景観の制度や全国各地の景観保全、地域活性化の取り組みについて知ってもらうためのパネル展示を開催。本市の「崎津・今富の文化的景観」についても紹介した。

期 日：10 月 4 日(金)～2 月 24 日(月)

ところ：旧綱元岩下家よらんかな

⑦市民シアター10 周年記念ポスター展

平成 27 年にスタートした天草市民シアターが 10 周年を迎えたことを記念し、これまで上映してきた映画や天草でロケを行った映画のポスターを展示した。

期 日：11 月 30 日(土)～2 月 24 日(月)

ところ：つどい処まつだ



⑧小池アミイゴの天草スケッチ展

天草市発行の書籍『Feel good Amakusa』に掲載されているイラストレーター・小池アミイゴ氏のスケッチ画の中から、崎津集落など天草各地の作品 16 点を展示した。

期 日：3 月 1 日(土)～6 月 29 日(日)

ところ：つどい処まつだ



(2) 講演(セミナー)・講座・体験学習等

①市民講座(館長講座)

「天草四郎陣中旗」の国の重要文化財指定 60 周年を記念し、館長講座を 2 週連続で開催。「島原・天草一揆」と「天草四郎」をテーマに、天草キリシタンの歴史と文化について解説した。

第 1 回「島原・天草一揆 なぜ彼らは戦ったか」 第 2 回「天草四郎の虚像と実像 四郎神秘の風説」

期 日：9 月 22 日(日) 13：30-15：00

期 日：9 月 29 日(日) 13：30-15：00

ところ：天草キリシタン館

ところ：天草キリシタン館

参加者：29 人

参加者：26 人

講 師：平田 豊弘 (天草市立キリシタン資料館館長)

②天草キリシタン館企画展「天草キリシタンの美術と史実」関連セミナー

美術的な視点から見た陣中旗や、原城跡の発掘調査と資料から判明した一揆勢の実態などを紹介。特別企画として、東海大学の学生による国内観光研修の報告を実施し、天草のこれからについて学生たちがそれぞれの考えを発表した。

期 日：10 月 6 日(日) 13：30-16：30

ところ：天草市複合施設こらす

講 師：関根 浩子氏(崇城大学教授)/「天草四郎陣中旗～いつ・誰が・何のために描いたのか～」

伊藤 健司氏(南島原市教育委員会参事[学芸員])/「原城における一揆勢の籠城～発掘や史料から～」

特別企画：東海大学学生による国内観光研修報告「世界遺産を守り繋げる」(東海大学教授・阿部正喜氏)

参加者：49 人

③市民講座：「活版印刷の東西～世界遺産プランタン印刷所と天草コレジヨ～」

本講座では、講師の岸本氏からヨーロッパで新たに発見されたキリシタン版など最新の研究成果について、羽田氏からベルギーのアントワープにある世界遺産「プランタン印刷所」を主題に講演いただいた。また、講師 2 人と市学芸員によるトークセッションも実施した。

期 日：10 月 13 日(日) 13：00～16：40

ところ：天草コレジヨ館

講 師：岸本 恵実 氏(大阪大学教授)

「新発見のキリシタン版国字本 2 点について」

羽田 孝之 氏(青羽古書店代表)

「天草本と同時代のヨーロッパ出版事情」

参加者：40 人



④体験学習：「鑄造と印刷を体験しよう」

手動活字鑄造を研究している西村氏による活字の鑄造体験と、グーテンベルク印刷機(複製)などを用いた印刷の実演・体験を行った。

期 日：10月19日(土) 13:30～15:30

ところ：天草コレジヨ館

講 師：西村 洋信 氏(熊本県立天草工業高等学校校長)

参加者：26人



⑤体験学習：わくわく歴史探検隊

天草の歴史・文化について周知を図るため、小学生から大人までを対象としたキリシタン関連史跡・まち歩きを開催。今回は明德寺や延慶寺をめぐり、寺院とキリシタンの関係を学んだ。あわせて、天草文化交流館での磁器の絵付け体験を通して天草陶石について触れ、地域理解を深めた。

期 日：10月27日(日) 8:30～11:45

ところ：天草キリシタン館/明德寺/延慶寺/天草文化交流館

参加者：6人



(3) イベント等

①「コレジヨの仲間」による古楽器演奏

期 日：4月12日(金)/7月31日(水)/9月6日(金)/
10月11日(水)/11月11日(月)/12月2日(月)
12月22日(日)/1月8日(水)/2月11日(火)/
3月11日(火)

ところ：天草コレジヨ館



②ワークショップ「陶石にお絵かきしよう！」

天草で採掘される「天草陶石」は質が良く、有田焼や波佐見焼など多くの焼き物にも用いられている。陶石に実際に触れることで、天草の魅力を再発見するきっかけとした。

期 日：7月27日(土)～28日(日) ①10:00～②14:00～

ところ：天草キリシタン館

参加者：84人

**③造形作家 ^{ガジュ}gajuワークショップ「かがみよカガミよ鏡さん！
を作ろう！」（平和学習）**

創造的な作品づくりを通して、平和の尊さと大切さを願う心をはぐくむ機会として開催。参加者は紙粘土を使った鏡作りに取り組んだ。

期 日：8月24日(土) 13：30～16：00

ところ：天草コレジオ館

講 師：造形作家 gaju(松岡 志保) 氏

参加者：6人



④ワークショップ「ブレスレットづくり体験」

ビーズの語源は、祈りの意味を持つ古英語の「bed」がもととなっている。また、教会でお祈りをする際にビーズ玉で作ったロザリオ（ブレスレットのような形状）を使い、祈りの回数が数えられていた（日本でいう数珠と同じ）。こうしたロザリオに関する背景などについて、子どもにも楽しい体験活動を通して知ってもらうため、ビーズを使ったブレスレットづくり体験を実施した。

期 日：11月9日(土)～10日(日) 14：00～16：00

ところ：天草ロザリオ館

参加者：10人



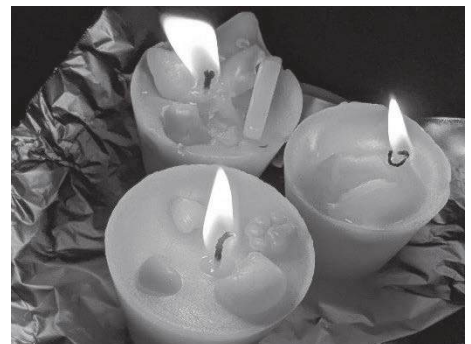
⑤ワークショップ「キャンドルを作ろう！」

天草では、キリスト教が伝わった450年前からクリスマスを祝っていたといわれている。ワークショップを通して、天草のクリシタンの歴史を知ってもらおうと、今回はキャンドルづくり体験を実施。さまざまな形の色付きのロウを自由に組み合わせてオリジナルのキャンドルを制作した。

期 日：12月15日(日) ①10:00～②14：00～③15:00～

ところ：天草クリシタン館

参加者：46人



(4) 刊行物

タイトル	発行日
天草市立キリシタン資料館年報 No.5	6月30日
令和6年度天草キリシタン館企画展「天草キリシタンの美術と史実」展示図録	10月2日

(5) 視察・研修受け入れ

総受入件数:27件

(天草キリシタン館:17件 天草ロザリオ館:4件 天草コレジヨ館:6件)

利用目的	件数	利用目的	件数
視察	6件	研修	9件
行政視察	1件	バスガイド研修	1件
企業視察	4件	下見	6件

(6) その他

①天草キリシタン史等の映像制作

キリシタン資料館の各館で放映している映像の中には、制作から20年以上が経過し、内容が現状にそぐわないものがあった。また、世界遺産登録から5年が経過し、世界遺産のPRを進める中で、学校教育や社会教育の現場において天草キリシタン史の通史がわかる映像が求められていたことから、資料館活動のさらなる活性化を図るとともに、地域振興、社会教育、特に学校教育等に活かすことを目的として、「天草キリシタン史」および「天草への南蛮文化の伝来・展開」を紹介する映像等の制作を行った（それぞれ英語・中国語・韓国語版も制作）。

『時代を超えた祈りの物語 ～天草キリシタン史～』

天草へのキリスト教の伝来・展開、禁教・弾圧、潜伏・再布教、世界遺産登録までの一連の天草キリシタン史を紹介。

ナレーション：ロバート・キャンベル氏（アメリカ合衆国出身/東京大学名誉教授）

『海を渡ったヴァージナルと活版印刷機 ～天草の南蛮文化の伝来と展開～』

古楽器ヴァージナルとグーテンベルク印刷機を主人公に、天正遣欧使節や彼らが日本にもたらした南蛮文化、天草コレジヨについて紹介。

ヴァージナルの声：成松 海悠氏（八代市出身/「川柳9会 夜の部」ナレーションほか）

グーテンベルク活版印刷機の声：大場 真人氏（北海道出身/「ONE PIECE」ナレーションほか）



『時代を超えた祈りの物語』から



『海を渡ったヴァージナルと活版印刷機』から

②収藏品管理データベース(ポケット学芸員)

キリシタン資料館では、4館の所蔵資料をクラウド型収藏品管理システム「I.B.MUSEUM SaaS」で管理するとともに、本システムに付随しているスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」を使用した展示資料解説の多言語対応（令和6年度は英語翻訳）を行った。

ポケット学芸員による展示解説については、今後、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語にも対応していく予定。



ポケット学芸員アプリ画面

4. 資料収集

(1) 寄贈資料

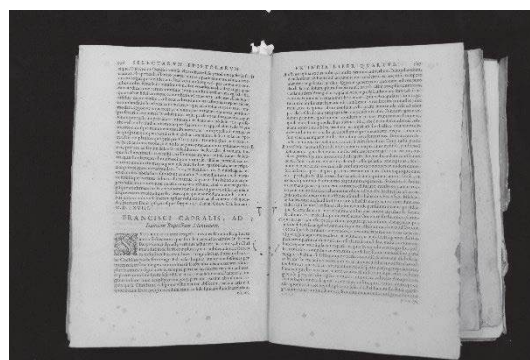
資料名	点数	寄贈者（敬称略）	保管施設
イコンの十字架	3	熊本市 山本勇治	キリシタン館
1500 年から 1574 年にかけて世界で生じた出来事についての短報、並びに 1570 年から 1586 年までの同増補	1		
祝福されたイエズス会創立者 イグナティウス・ロヨラの生涯	1		
聖なるイグナシオ・ロヨラの祝福された生涯	1		
著名武将列伝	1		
聖者ペドロ・バプティスタと 22 人のフランシスコ会士：1597 年の日本にお ける殉教者たち（メダル）	1	京都府 羽田孝之	コレジヨ館
着色天草絵図（18～19 世紀）	1		
日本のカテキズモ（ファクシミリ版）	1		
GEESTELIJK ZAADKORRELTJE	1		

(2) 購入資料

資料名	点数	保管施設
テイシェイラ「日本図」	1	キリシタン館
『インド誌：インド書簡集：イグナティウス・ロヨラ伝』	1	
『日本誌』（ビエール・シャルルボア,1758 年）	1	コレジヨ館



テイシェイラ「日本図」



『インド誌：インド書簡集：イグナティウス・ロヨラ伝』

14

書籍タイトル	発行所	寄贈者（敬称略）	保管施設
令和6年度埋蔵文化財講演会資料「九州・おおいとの弥生文化」	大分県立埋蔵文化財センター	大分県立埋蔵文化財センター	
絵本「そして、キミは龍になった～天草四郎伝説～」	星雲社	佐賀県杵島郡江北町 永松聖子	
デイリーサピックス 小学5年 社会 江戸幕府の成立（進学教室サピックス小学部 2024年度版）	株式会社日本入試センター（進学教室サピックス小学部）	株式会社日本入試センター（進学教室サピックス小学部）	
デイリーサピックス 小学6年 社会 外交史②欧米諸国との外交の歴史（進学教室サピックス小学部 2024年度版）	株式会社日本入試センター（進学教室サピックス小学部）	株式会社日本入試センター（進学教室サピックス小学部）	
ムー 2025年1月号 No.530	株式会社ワン・パブリッシング	株式会社ワン・パブリッシング	
第71回 日本伝統工芸展図録	日本伝統工芸展運営委員会	第71回日本伝統工芸展福岡展実行委員会委員長	
NHK 3か月でマスターする 江戸時代	NHK出版	NHK出版教育・趣味編集部 倉持咲子	
長崎県文化財調査報告書第219集 長崎かくれキリシタン信仰用具民俗文化財調査事業報告書	長崎県	長崎県文化振興・世界遺産課 世界遺産課	キリシタン館
令和5年度 福岡市美術館活動の記録	福岡市美術館	福岡市美術館長 岩永悦子	
抜萃のつづり その八十四	熊平雅人	株式会社クマヒラ・ホールディングス 会長 熊平雅人	
西南学院大学博物館研究叢書 知のアトラスー宇宙をめぐる教会と科学の歴史	西南学院大学博物館	西南学院大学博物館館長 片山隆裕	
諫早市史 第一巻	諫早市役所	諫早市美術・歴史館館長 加藤成昭	
諫早市史 第二巻	諫早市役所	諫早市美術・歴史館館長 加藤成昭	
大友氏の風景（十二） ※寄贈かどうか不明	NPO法人・大友氏顕彰会	北島俊一	
つん 今日も「あなぐまち」で生きていく	宇城市不知火美術館	宇城市不知火美術館	
令和6年度 滝沢市埋蔵文化財センター講座「呪術放談ーまじないから見る地域史ー」資料集	滝沢市埋蔵文化財センター	滝沢市埋蔵文化財センター	
千燈寺跡 西之坊跡周辺発掘調査報告書（2024）	国東市教育委員会	国東市教育委員会	
光岡明特別資料目録	くまもと文学・歴史館	くまもと文学・歴史館	
ラテン語原典訳付 イソボ物語ー『エソボのハブラス』	リフレ出版	原澤隆三郎	コレジョ館
日本二十六聖人 三木パウロ殉教への道	弦書房	玉木譲	

（4）購入図書

書籍タイトル	発行所	保管施設
島原半島史 全三巻（上巻・中巻・下巻）	株式会社国書研究会	
福岡とキリスト教：ザビエルから現代までの変遷を追って	有限会社海鳥社	
長崎集	純心女子短期大学	
キリシタンの洗礼資料集	純心女子短期大学	キリシタン館
長崎のコレジョ	純心女子短期大学	
大村純忠伝 付・日葡交渉小史	株式会社教文館	
長崎異国風土記	藤木博英社	
キリシタン世紀の日本	株式会社八木書店出版部	
日本関係海外資料 イエズス会日本書翰集原譚文編之	株式会社平文社	コレジョ館
現代語訳 上井覚兼日記1	ヒムカ出版	
現代語訳 上井覚兼日記2	ヒムカ出版	

5. 教育普及活動

(1) 博物館実習等の受け入れ

①博物館実習

期 間	実習生	受入施設
8月26日(水)～31日(土) ※29・30日は台風接近に伴い臨時休館	崇城大学芸術学部 デザイン学科4年生 1人 聖心女子大学現代教養学部哲学科4年生 1人	クリシタン館 ロザリオ館
9月4日(水)～5日(木) ※臨時休館のため追加実施	崇城大学芸術学部 デザイン学科4年生 1人	クリシタン館

②インターンシップ

期 間	実習生	受入施設
7月10日(水)～11日(木)	熊本県立天草高等学校倉岳校 2年生 1人	クリシタン館
10月23日(水)～25日(金)	熊本県立天草工業高等学校 2年生 3人	クリシタン館

③職場体験

期 間	実習生	受入施設
9月18日(水)～20日(金)	天草市立本渡中学校2年生 3人	クリシタン館

(2) 館内見学の受け入れ（市内学校）

期 日	学 校	目 的	受入施設
7月10日(水)	牛深中学校 1年生	総合的な学習の時間	コレジヨ館
9月11日(水)	天草中学校 1年生	総合的な学習の時間	コレジヨ館
9月13日(金)	河浦小学校 6年生	総合的な学習の時間	ロザリオ館 コレジヨ館 みなと屋
9月17日(火)	河浦中学校 1年生	総合的な学習の時間「世界遺産学」	ロザリオ館 コレジヨ館 みなと屋

5. 教育普及活動

期 日	学 校	目 的	受入施設
9 月 19 日(木)	本渡北小学校 4・5 年生	歴史クラブ「天草の歴史を学ぶ」学習	クリシタン館
9 月 26 日(木)	五和中学校 1 年生	総合的な学習の時間「世界遺産学」	クリシタン館 ロザリオ館
10 月 21 日(月)	牛深東中学校 1 年生	総合的な学習の時間	コレジヨ館 みなと屋
10 月 25 日(金)	栖本小学校 3・4 年生	校外学習	クリシタン館
10 月 28 日(月)	本渡中学校 1 年生	総合的な学習の時間「天草発見」	ロザリオ館 コレジヨ館 みなと屋
10 月 29 日(火)	本渡中学校 1 年生	総合的な学習の時間「天草発見」	ロザリオ館 コレジヨ館 みなと屋
	御所浦小学校 3・4 年生	社会見学	クリシタン館
11 月 1 日(金)	栖本中学校 3 年生	総合的な学習の時間「ふるさと体験」	ロザリオ館 コレジヨ館 みなと屋
	倉岳中学校 3 年生	総合的な学習の時間「世界遺産学」	ロザリオ館 みなと屋
11 月 15 日(金)	本渡東中学校 1 年生	総合的な学習の時間「天草の世界遺産」	ロザリオ館
11 月 25 日(月)	稜南中学校 1 年生	総合的な学習の時間「世界遺産学」	ロザリオ館 みなと屋
12 月 6 日(金)	有明中学校 1 年生	総合的な学習の時間「世界遺産学」	クリシタン館 ロザリオ館 みなと屋
12 月 10 日(火)	御所浦中学校 1 年生	総合的な学習の時間	ロザリオ館 みなと屋

6. その他の活動

(1) 各機関との共同事業

事業名	期 間	連携施設
島原鉄道株式会社「天草グルメとキリシタン文化を巡る旅」	4月1日～3月31日	キリシタン館 ロザリオ館 コレジヨ館
株式会社カッセ・ジャパン「あまくさぐるっとクーポン」	4月1日～3月31日	キリシタン館 ロザリオ館 コレジヨ館
株式会社カッセ・ジャパン「天草ぐるっと周遊バス」	4月1日～3月31日	キリシタン館 ロザリオ館 コレジヨ館 みなと屋
世界糖尿病デー「ブルーライトアップ」	11月11日～17日	キリシタン館
あまくさロマンティックファンタジー2024 イルミネーション設置協力	11月30日～1月13日	ロザリオ館 みなと屋
島原鉄道株式会社「サイクルトレイン」専用チケット特典	通年	キリシタン館 ロザリオ館 コレジヨ館

(2) 情報発信

日時	発信場所	内容
8/11(日)～17(土)	みつばちラジオ	天草コレジヨ館で8/27(土)に開催した造形作家 gaju 氏のワークショップ(平和学習)について周知。
9/1(日)～7(土)	みつばちラジオ	天草キリシタン館で9/22(日)・29日(日)に開催した市民講座(館長講座)について周知。
9/15(日)～21(土)	みつばちラジオ	天草キリシタン館企画展「天草キリシタンの美術と史実～天草四郎陣中旗と原城～」について周知。
10/20(日)～26(土)	みつばちラジオ	11/9(日)・10(日)に開催した天草ロザリオ館ワークショップ「プレスレットづくり体験」について周知。
3/23(日)～29(土)	みつばちラジオ	令和7年4月1日から変更する天草市立キリシタン資料館3館の開館時間について周知。

※このほか、各館において HP や SNS 等での情報発信を随時実施。

(3) 取材対応

実施内容	実施日・期間	関連施設
株式会社テレバック BS11「偉人・敗北からの教訓」撮影	9月26日	クリシタン館
株式会社熊本日日新聞社「天草クリシタンの美術と史実」取材	10月2日	クリシタン館
天草ケーブルテレビネットワーク株式会社「天草クリシタンの美術と史実」取材	10月7日	クリシタン館
株式会社ティーヴィボックス テレビ東京「世界！ニッポン行きたい人応援団」撮影	10月9日	クリシタン館
天草ケーブルテレビネットワーク株式会社 クリスマスワークショップ取材	12月15日	クリシタン館
熊本日日新聞社 同上ワークショップ取材	12月15日	クリシタン館
株式会社NHK エンタープライズ NHK「日本の世界遺産」撮影	12月16日	みなと屋
スタジオハヤタ 作品名「PORTRAITS OF GOD」取材・撮影	1月8～9日	ロザリオ館 みなと屋
天草ケーブルテレビネットワーク株式会社 みつばちラジオ活版印刷体験取材	2月4日	コレジヨ館
企画・編集オフィスノンブル 「おらしょ ころろ旅」撮影	2月21日	クリシタン館
	2月22日	ロザリオ館 コレジヨ館

(4) 資料画像提供

①映像・書籍等

内 容	種 類	関連施設
株式会社TBS スパークル BS-TBS「関口宏の一番新しい江戸時代」	テレビ番組	クリシタン館
株式会社ミュージアムビック Web サービス「ミュージアムビック」	ウェブサイト	クリシタン館
株式会社河合出版 『2025 共通テスト直前対策問題集 Vol.12 歴史総合,日本史探究』	問題集	クリシタン館
株式会社集英社 集英社文庫『四郎の城 キリシタン戦記』	文庫本	クリシタン館
株式会社ゴンゾ アニメーション MV「Gloria」	ミュージックビデオ (YouTube)	クリシタン館
熊日サービス開発株式会社 熊日生涯学習プラザ事前講座/現地学習会「天草四郎陣中旗と島原・天草一揆」	チラシ・新聞広告ほか	クリシタン館
株式会社ユニフォトプレスインターナショナル 『愛知県土日本科授業プリント 資料分析問題』	塾用教材	クリシタン館
株式会社かまくら春秋社 『天正遣欧少年使節記録図譜』	図譜	クリシタン館 コレジヨ館
エー・アール・ティ株式会社 月刊『江戸楽』	月刊誌	クリシタン館
株式会社グレイル 株式会社NHK 出版『3 か月でマスターする江戸時代』	参考書	クリシタン館
株式会社アフロ 株式会社好学出版『2025 版 ウイニング歴史II』	塾用教材	クリシタン館
株式会社NHK エンタープライズ NHK「日本の世界遺産」	テレビ番組	クリシタン館
子どもの未来社 『絵でみる日本の図書館の歴史』	参考書	コレジヨ館
テレコムスタッフ株式会社 NHK Eテレ「3 か月でマスターする江戸時代」	テレビ番組	クリシタン館
株式会社クロノクリエイト 私立中学入試問題	入試問題	クリシタン館
東京天草郷友会 広報誌「あまくさ 120 号」	広報誌	クリシタン館
熊本県博物館ネットワークセンター 博物館情報誌「Muse」	情報誌	クリシタン館
サイネット株式会社 株式会社文溪堂「社会科資料集 6 年『デジタン Q』」	教材 (デジタル媒体)	クリシタン館
東京書籍株式会社 『令和 7 年度 新編 新しい社会』	教材 (教科書/デジタル媒体)	クリシタン館
株式会社 KANADEL 『ボプラメディア プラス日本の歴史』	参考書	コレジヨ館

内 容	種 類	関連施設
株式会社アフロ『歴史の完全学習 2・3』	参考書	クリシタン館
株式会社日本入試センター 「社会 6 年デイリーサビックス 640-09」「社会 5 年デイリーサビックス 540-29」	塾用教材	クリシタン館
戎光祥出版『歴史研究』730 号（5 月号）	論文	クリシタン館 コレジヨ館
株式会社ユニフォトプレスインターナショナル 東京書籍株式会社『日本史探究』	教材（教科書/デジタル媒体）	クリシタン館
一般社団法人日本メタル経済研究所『メタ研通信』	報告書	コレジヨ館

②調査・研究ほか

提供資料画像	目 的	申請者種別	関連施設
「天草征伐記」「天草軍戦記」「天草軍談」「嶋原有馬軍記」	調査/研究	大学	クリシタン館
天草四郎陣中旗 ほか	調査/研究	大学	クリシタン館
マリア観音 大黒天 鏡	調査/研究	個人	ロザリオ館
メダリオン	講座資料	調査機関	クリシタン館
「細川忠利書状（三月朔日付け書状）」※借用資料	テキスト資料	個人	クリシタン館
天草四郎陣中旗	調査/研究	個人	クリシタン館
「文化二年宗門改帳 大江村」（上田家文書）	調査/研究	個人	ロザリオ館

（5）工事・修繕

件 名	施設名	件 名	施設名
天草四郎スタンド看板修繕	クリシタン館	男子トイレ雨漏り修繕	コレジヨ館
エレベーター部品取替等修繕		活版印刷機部品取替修繕	
エスカレーター部品取替等修繕		トイレドア修繕	
防犯カメラ取替修繕		昇降機部品取替修繕	
1 階男子トイレ側壁雨漏り修繕		駐車場改修工事	
男子トイレ ロータンクレバー調整		貯水槽解体工事	
空調修繕		花壇修復工事	
通路街灯ガラスグローブ割れ交換修繕		誘導灯バッテリー取替修繕	
自動ドア赤外線センサー取替修繕		クロス取替	
防火シャッターバッテリー交換		展示室エアコン修理	みなと屋
映像送出機器更新	ロザリオ館	崎津・今富物語プロジェクター更新	
空調設備チラー修繕			
防犯カメラ取替修繕			
映像ホール足元灯増設工事			
外壁塗装改修工事			
排煙窓修繕			
雨水ドレン埋込防水工事			
自動ドア修繕			
展示室照明器具取替修繕			

(6) その他

実施内容	実施日・期間	関連施設
熱中症対策休憩所開設	6月1日～10月31日	クリシタン館 ロザリオ館
天草四郎パネル新調・設置	7月3日	クリシタン館
台風10号接近に伴う臨時休館	8月29日～30日	クリシタン館 ロザリオ館 コレジヨ館 みなと屋
熊本県立拓心高等学校プランター交換・設置	6月6日	クリシタン館
消防・防災訓練	1月16日	ロザリオ館
	1月22日	コレジヨ館
	1月23日	クリシタン館
本渡北地区ウォークラリーチェックポイント設置	2月2日	クリシタン館
積雪に伴う臨時休館	2月8日	ロザリオ館 みなと屋

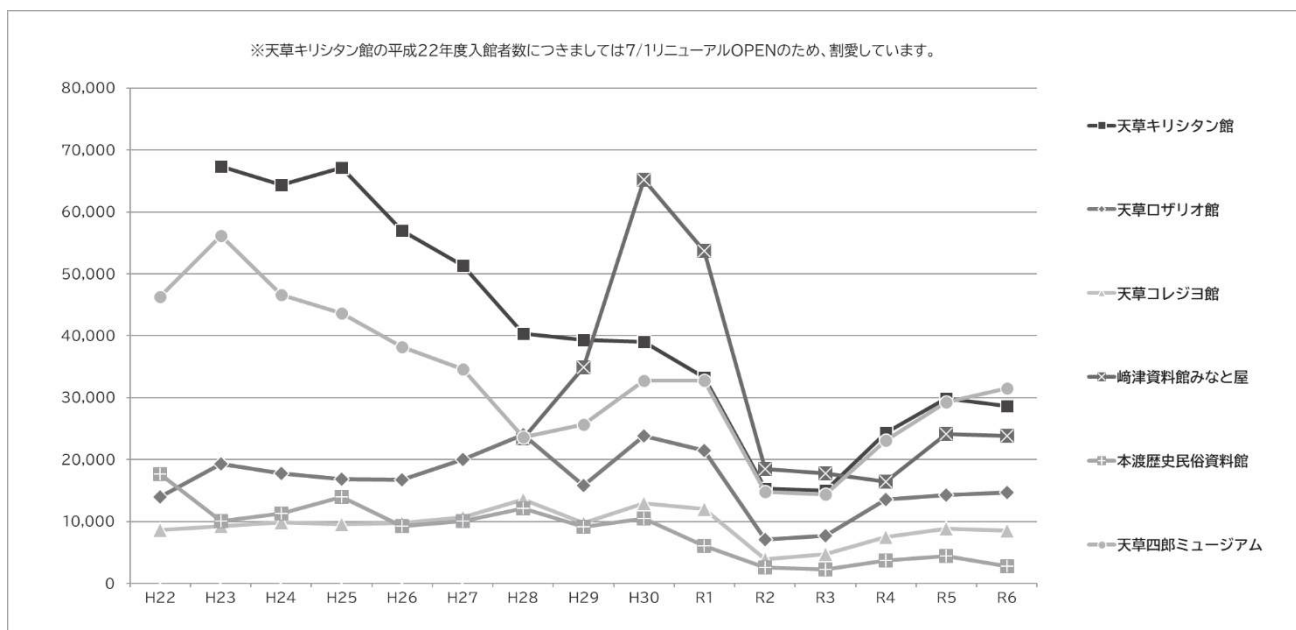
資 料

1. 来館者動向
2. 企画展・セミナー・講座等アンケート結果
3. 天草キリシタン館企画展関連セミナー講演内容(概要)
4. 施設概要・担当職員
5. 天草市立キリシタン資料館条例

1. 来館者動向

(1) 年度別入館者数

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	前年度比
天草キリシタン館	—	67,323	64,321	67,169	56,986	51,287	40,308	39,288	39,008	33,224	15,361	15,041	24,390	29,930	28,661	▲-1,269
天草ロザリオ館	13,961	19,338	17,765	16,808	16,756	19,983	24,004	15,814	23,848	21,478	7,154	7,752	13,582	14,283	14,712	▲429
天草コレジヨ館	8,667	9,243	9,900	9,543	9,770	10,738	13,580	9,798	12,922	12,024	3,959	4,695	7,498	8,821	8,520	▲301
崎津資料館みなと屋	—	—	—	—	—	—	23,405	34,888	65,161	53,693	18,535	17,740	16,490	24,090	23,783	▲307
本渡歴史民俗資料館	17,699	10,111	11,304	13,973	9,300	10,054	12,161	9,161	10,486	6,053	2,602	2,328	3,704	4,395	2,743	▲1,652
天草四郎ミュージアム	46,313	56,132	46,631	43,678	38,216	34,606	23,612	25,710	32,789	32,733	14,752	14,397	23,161	29,270	31,512	▲2,242
崎津集落ガイダンスセンター	—	—	—	—	—	—	21,462	31,618	104,176	103,205	56,884	56,190	91,083	76,919	76,915	▲4



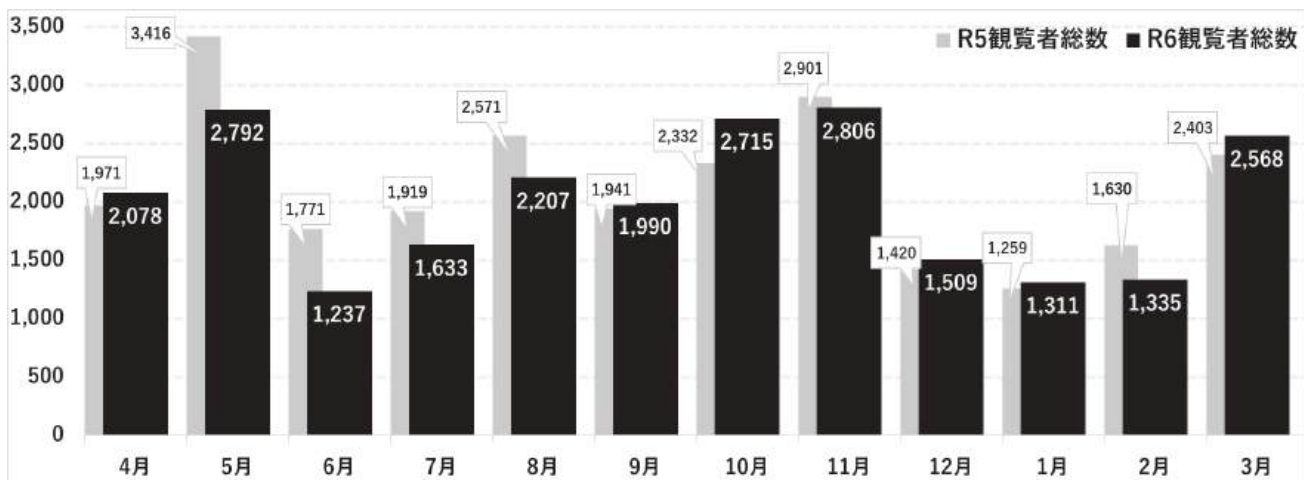
【入館者推移】

令和6年度における天草地域の展示施設の入館者は、上記の表・グラフのとおりである。まず、入館者の伸びが見られたのは天草四郎ミュージアム（上天草市）で、2,242人の増加であった。天草市内の施設では、天草ロザリオ館が429人の増加である。他館は減少しており、特に天草キリシタン館は1,269人、本渡歴史民俗資料館は1,652人の減少であった。天草キリシタン館の受付の状況より、海外からの入館者は増加しているが日本人の入館者が減少している実感である。天草市では昨年3月に天草市立御所浦恐竜の島博物館がオープンし、今年3月までの入館者は25,160人であった。

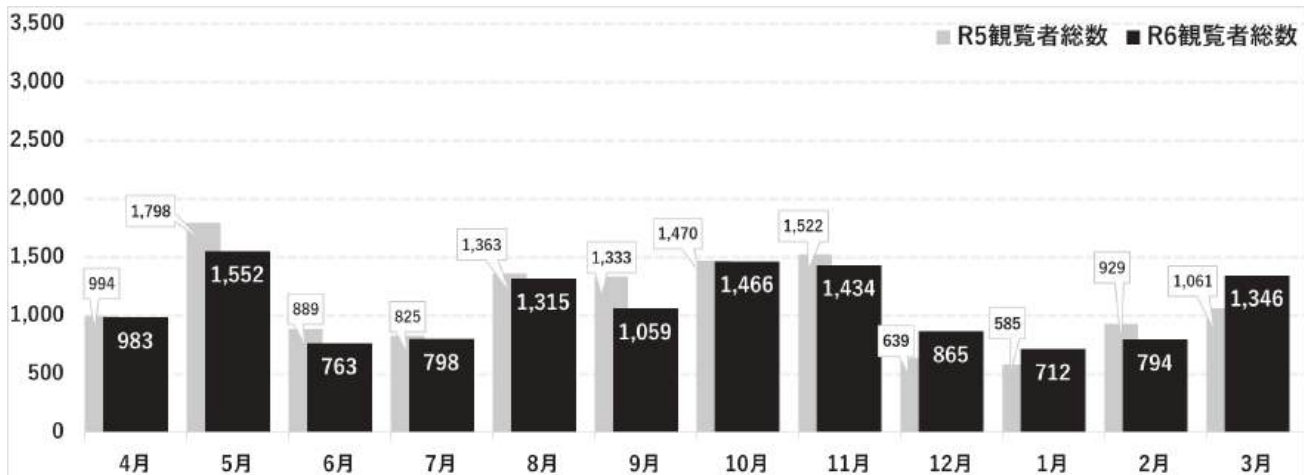
天草観光の動向調査については観光振興課において実施されており、県内の動向と合わせ各エリアの検証、各施設の分析を経て総合的な誘客力の強化が必要である。

(2) 各館入館者数

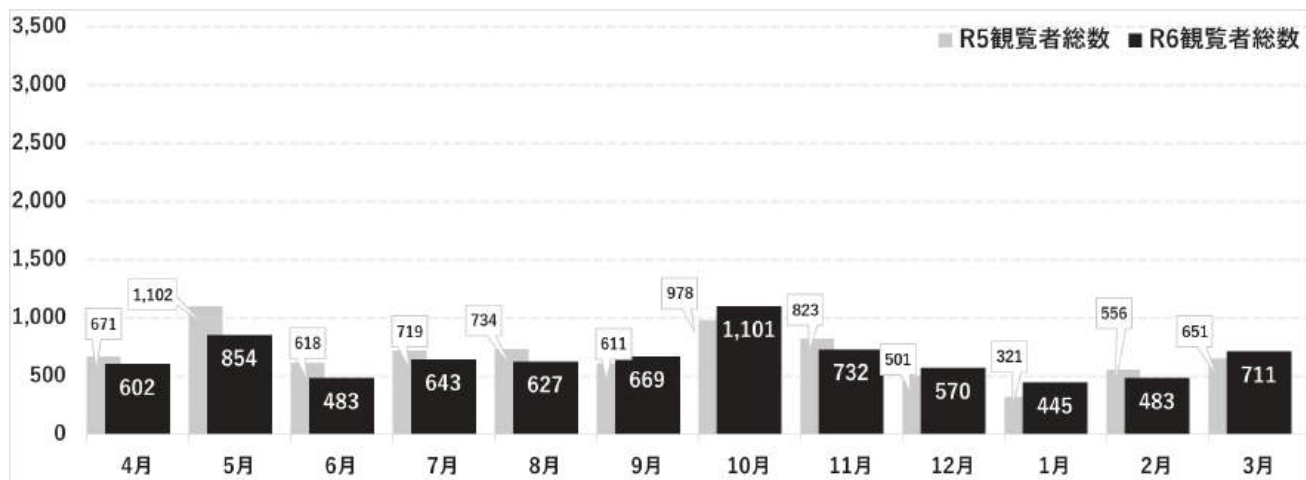
天草キリシタン館													
種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通常													
一般	1,508	1,979	935	1,159	1,554	1,578	1,935	2,353	1,131	995	1,035	1,870	18,032
高校生	108	203	1	49	62	7	185	2	10	11	10	130	778
小・中学生	59	77	12	96	241	40	132	48	52	44	39	122	962
周遊券													
一般	146	229	120	173	152	98	157	172	142	120	108	178	1,795
高校生	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	2	6
小・中学生	5	2	1	6	9	0	1	2	0	3	1	5	35
無料													
一般	239	278	161	142	164	188	265	193	132	123	126	239	2,250
高校生	0	1	0	0	1	1	0	2	0	1	0	3	9
小・中学生	13	23	7	7	24	78	39	34	42	12	16	19	314
R6観覧者総数	2,078	2,792	1,237	1,633	2,207	1,990	2,715	2,806	1,509	1,311	1,335	2,568	24,181
観覧者外総数	413	445	234	398	300	457	353	420	343	257	419	441	4,480
来館者総合計	2,491	3,237	1,471	2,031	2,507	2,447	3,068	3,226	1,852	1,568	1,754	3,009	28,661
R5観覧者総数	1,971	3,416	1,771	1,919	2,571	1,941	2,332	2,901	1,420	1,259	1,630	2,403	25,534



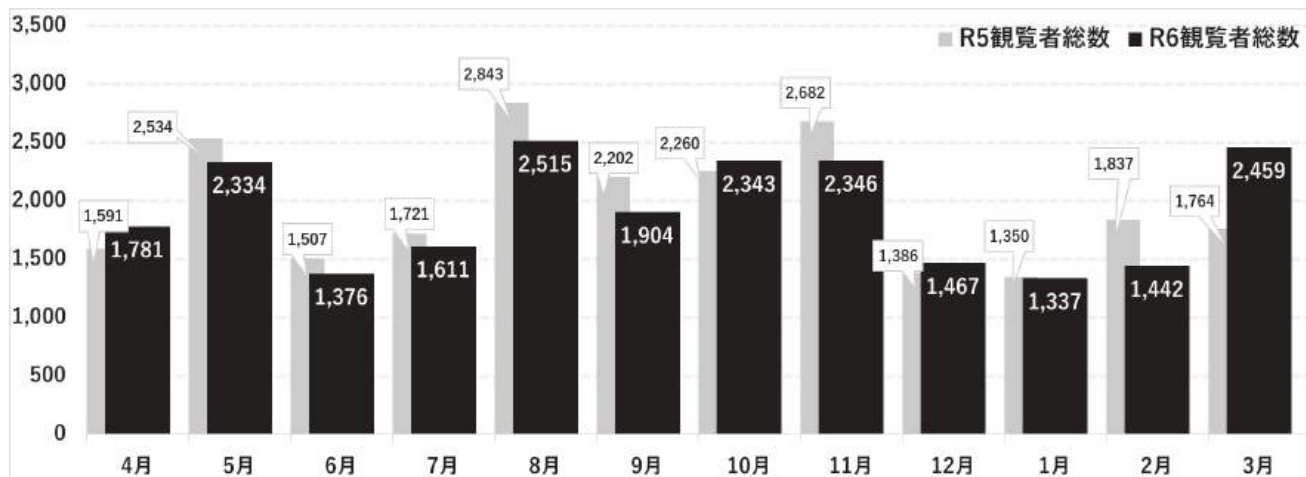
天草口ザリオ館													
種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通常													
一般	567	945	415	496	824	617	805	872	533	431	515	833	7,853
高校生	2	6	1	4	26	4	14	2	4	4	4	4	75
小・中学生	14	26	13	26	110	12	6	12	16	21	18	23	297
周遊券													
一般	83	92	38	43	49	55	33	19	6	21	7	59	505
高校生	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4
小・中学生	2	2	0	0	3	3	7	0	0	0	0	2	19
無料													
一般	313	476	293	224	281	282	363	382	261	231	248	416	3,770
高校生	0	0	1	2	2	1	0	0	0	1	0	1	8
小・中学生	2	3	2	3	20	85	238	147	45	3	1	7	556
R6観覧者総数	983	1,552	763	798	1,315	1,059	1,466	1,434	865	712	794	1,346	13,087
観覧者外総数	82	132	119	80	132	111	156	183	157	129	158	186	1,625
来館者総合計	1,065	1,684	882	878	1,447	1,170	1,622	1,617	1,022	841	952	1,532	14,712
R5観覧者総数	994	1,798	889	825	1,363	1,333	1,470	1,522	639	585	929	1,061	13,408



天 草 コ レ ジ ョ 館														
種別/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通常	一 般	218	295	158	218	245	279	329	288	281	171	213	226	2,921
	高校生	1	3	0	0	6	0	1	0	2	1	0	4	18
	小・中学生	5	10	3	10	11	0	1	2	2	1	7	6	58
周遊券	一 般	138	200	110	92	120	130	156	182	113	78	111	187	1,617
	高校生	0	0	1	1	2	2	1	1	0	0	0	3	11
	小・中学生	0	2	1	0	15	4	3	2	2	0	3	10	42
無料	一 般	231	337	209	247	217	208	356	243	168	183	143	268	2,810
	高校生	0	2	0	21	0	0	1	0	1	0	1	2	28
	小・中学生	9	5	1	54	11	46	253	14	1	11	5	5	415
R6観覧者総数		602	854	483	643	627	669	1,101	732	570	445	483	711	7,920
観覧者外総数		55	47	50	39	38	51	58	50	61	46	43	62	600
来館者総合計		657	901	533	682	665	720	1,159	782	631	491	526	773	8,520
R5観覧者総数		671	1,102	618	719	734	611	978	823	501	321	556	651	8,285



崎 津 資 料 館 み な と 屋														
種別/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通常	一 般	1,278	1,601	947	1,103	1,735	1,486	1,693	1,667	1,067	981	1,122	1,810	16,490
	高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小・中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周遊券	一 般	9	17	4	10	8	9	18	18	10	7	22	21	153
	高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小・中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無料	一 般	442	598	318	354	382	319	447	424	288	274	248	467	4,561
	高校生	7	45	80	44	80	10	7	17	15	16	10	26	357
	小・中学生	45	73	27	100	310	80	178	220	87	59	40	135	1,354
R6観覧者総数		1,781	2,334	1,376	1,611	2,515	1,904	2,343	2,346	1,467	1,337	1,442	2,459	22,915
観覧者外総数		31	56	32	87	118	89	41	70	77	101	81	85	868
来館者総合計		1,812	2,390	1,408	1,698	2,633	1,993	2,384	2,416	1,544	1,438	1,523	2,544	23,783
R5観覧者総数		1,591	2,534	1,507	1,721	2,843	2,202	2,260	2,682	1,386	1,350	1,837	1,764	23,677



2. 企画展・セミナー・講座等アンケート結果

①「市民講座(館長講座)」第1回(天草キリシタン館)

【開催日：9月22日(日) 参加者:29人 回答:28件 回答率:96.6%】

1. ご年齢をお教えてください。

60代以上	40～50代	20～30代	10代	無回答
20	6	2	0	0

2. 本日はどちらからお越しですか？

天草市	上天草市	天草郡	天草島外	無回答
26	0	0	2	0

3. これまでキリシタン資料館が開催した講演会などに参加されたことはありますか？

ある	ない	無回答
11	12	5

4. 館長講座の開催についてどこでお知りになりましたか？ (複数回答可)

チラシ・ポスター	市政だより	ホームページ	SNS	知人・家族から
3	17	2	2	4
その他	無回答			
3	0			

5. 今回の館長講座の内容はいかがでしたか？

とても良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
25	3	0	0	0

②「市民講座(館長講座)」第2回(天草キリシタン館)

【開催日：9月29日(日) 参加者:25人 回答:25件 回答率:100%】

1. ご年齢をお教えてください。

60代以上	40～50代	20～30代	10代	無回答
17	7	1	0	0

2. 本日はどちらからお越しですか？

天草市	上天草市	天草郡	天草島外	無回答
23	0	0	2	0

3. これまでキリシタン資料館が開催した講演会などに参加されたことはありますか？

ある	ない	無回答
15	7	3

4. 館長講座の開催についてどこでお知りになりましたか？ (複数回答可)

チラシ・ポスター	市政だより	ホームページ	SNS	知人・家族から
4	14	3	5	5
その他	無回答			
1	0			

5. 今回の館長講座の内容はいかがでしたか？

とても良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
20	4	0	0	1

▶ユーモアを含めた館長の解説はわかりやすく良かったという好意的な意見が多く寄せられた。島原・天草一揆関連の講座や古文書講座の開催を求める意見があげられ、講座・ワークショップ等の活動をもっと活発に行ってほしいという意見もあった。

③企画展「天草キリシタンの美術と史実」関連セミナー(天草キリシタン館)

【開催日：10月6日(日) 参加者:49人 回答:38件 回答率:77.6%】

1. ご年齢をお教えてください。

60代以上	40～50代	20～30代	10代	無回答
25	9	2	0	2

2. 本日はどちらからお越しですか？

天草市	上天草市	天草郡	天草島外	無回答
28	0	1	9	0

3. これまでキリシタン資料館が開催した講演会などに参加されたことはありますか？

ある	ない	無回答
21	12	5

4. セミナーの開催についてどこでお知りになりましたか？ (複数回答可)

チラシ・ポスター	市政だより	ホームページ	SNS	知人・家族から
19	14	0	2	5
その他	無回答			
7	0			

5. 今回のセミナーの内容はいかがでしたか？

とても良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
20	14	1	0	3

▶美術の視点から見た陣中旗や、原城での最新の発掘調査など、専門的な講演内容を高く評価する意見が多かった。反面、時間配分や資料準備の不十分さを指摘する意見も見受けられた。

④市民講座「活版印刷の東西～世界遺産プランタン印刷所と天草コレジヨ～」(天草コレジヨ館)

【開催日：10月13日(日) 参加者:40人 回答:27件 回答率:67.5%】

1. ご年齢をお教えてください。

70代以上	60代	50代	40代	30代
6	8	7	2	2
20代	10代	無回答		
2	0	0		

2. 本日はどちらからお越しですか？

天草市	熊本県内	県外	無回答
20	5	2	0

3. 市民講座の開催についてどこでお知りになりましたか？ (複数回答可)

ポスター・チラシ	ホームページ	市政だより・新聞	SNS等	友人・知人・家族
10	1	7	0	8
その他	無回答			
2	0			

4 ①. 羽田孝之氏の講演内容はいかがでしたか？

大変よかった	よかった	普通	やや不満	不満
21	6	0	0	0
無回答				
0				

4 ②. 岸田恵実氏の講演内容はいかがでしたか？

大変よかった	よかった	普通	やや不満	不満
20	7	0	0	0
無回答				
0				

4 ③. トークセッションはいかがでしたか？

大変よかった	よかった	普通	やや不満	不満
13	6	2	0	0
無回答				
6				

▶印刷物関連(天草本以外でも)の講演や展示などの定期的な開催を求める声が寄せられた。

⑤「わくわく歴史探検隊」(天草キリシタン館)

【開催日: 10月27日(日) 参加者: 6人 回答: 6件 回答率: 100%】

1. ご年齢をお教えてください。

60代以上	40～50代	20～30代	10代	無回答
5	1	0	0	0

2. イベントの開催についてどこでお知りになりましたか？
(複数回答可)

チラシ・ポスター	市政だより	知人・家族から	SNS・HP	その他
1	5	0	0	0
無回答				
0				

3. 今回のイベントの内容はいかがでしたか？

とても良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
6	0	0	0	0

4. 下記のなかで行ってみたい場所がありますか？(複数回答可)

富岡地域	崎津集落周辺	鈴木神社・東向寺	御所浦地域	天草四郎ミュージアム
3	1	3	3	1
湯島	その他	無回答		
3	0	1		

▶ 普段知ることのない話を聞く機会を得られて良かったという意見が寄せられた。今回は参加者全員が大人だったこともあり、少し踏み込んだ話ができたと高評価の一因となったと思われる。

⑥ワークショップ「キャンドルをつくろう！」(天草キリシタン館)

【開催日: 12月15日(日) 参加者: 46人 回答: 14件 回答率: 30.4%】

1. ご年齢をお教えてください。

60代以上	40～50代	20～30代	10代	無回答
0	9	1	4	0

2. 本日はどちらからお越しですか？

天草市	上天草市	天草郡	天草島外	無回答
13	0	0	1	0

3. イベントの開催についてどこでお知りになりましたか？
(複数回答可)

チラシ・ポスター	市政だより	知人・家族から	SNS・HP	その他
21	4	2	0	0
無回答				
1				

4. 今回のイベントの内容はいかがでしたか？

とても良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
14	0	0	0	0

5-1. 今後の開催について参加しやすいと思う日をお教えてください。【月】(複数回答可)

1月	2月	3月	4月	5月
4	3	2	2	3
6月	7月	8月	9月	10月
1	2	4	1	2
11月	12月	無回答		
3	5	4		

5-2. 今後の開催について参加しやすいと思う日をお教えてください。【曜日】(複数回答可)

平日	土曜日	日曜日	祝日	無回答
2	8	9	4	3
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
0	1	0	0	0

▶ 子どもも大人も一緒に楽しむことができる内容・難易度に対する好意的な意見が多く寄せられた。夏のワークショップに参加した方もおり、毎年の開催を求める意見もあった。

3. 天草キリシタン館企画展関連セミナー講演内容（概要）

「天草四郎陣中旗～いつ・誰が・何のために描いたのか～」

講師：崇城大学教授 関根浩子氏

1章-1 「天草四郎陣中旗（綸子地著色聖体秘跡図指物）」概説

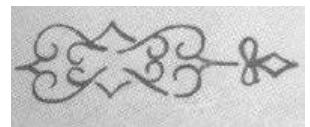
- 「綸子」とは、経糸・緯糸ともによっていない糸（無撚糸）を使用し、縹子織の表組織と裏組織を組み合わせ文様を浮き出させた絹織物の一つ。文様は「紗綾型」とも呼ばれる卍崩し。紗綾型の文様は明時代の中国から輸入され、地文様として日本でも使われるようになった。江戸時代の綸子の地文様はほとんどが紗綾型で、これに菊や蘭などをあしらったものが流行した。卍模様が途切れることなく連続することから、「家の繁栄」や「長寿」の縁起物とされる。
- 「聖体（エウカリスティア）」は「感謝」を意味するギリシャ語が語源。ミサにおいて、聖別されたパンと聖杯に注がれた葡萄酒の形態で示されるキリストの身体と血のこと。「秘蹟（サクラメント）」は「神秘」を意味するギリシャ語が語源。「神の御業の秘められた恩恵にあずからせるための救いの手段」。4～5世紀頃、聖アウグスティヌスが定着させた考え方で、「不可視の神の恩恵を見えるようにしたしるし」が「秘蹟」であるとする。その後中世の神学者たちにより、「洗礼・聖体・堅信・改悛・終油・叙階・婚姻」の七つの秘蹟に特権的な意味が与えられた。「聖体の秘蹟」は「最後の晩餐」でイエスがパンと葡萄酒を祝別した際の祈りにさかのぼるもので、キリストの命をいただくことで永遠の命＝神の恩恵にあずかることを、「イエスと食事をともにする」という目に見える手段で表したものの。
- 寛永14～15（1637～38）年の島原・天草一揆の際、落城時に一番乗りした鍋島大膳（佐賀藩主・鍋島勝茂家臣）が本丸の外にあった陣中旗を竿から切り落として奪取。その後大膳より佐賀藩主・鍋島勝茂へ奉じられた陣中旗は、寛文11（1671）年三代鍋島安之の時に戦功品として大膳に下賜され、子孫である岡山家（肥前多久の竜造寺家分家筋に当たる。元は鍋島姓。五代要之の時に備前岡山で藩主より氏名を賜り、姓を岡山、名を庄九と改名）の家宝として伝来。昭和38（1963）年に岡山家の当時の子孫がアメリカに売却を計画。これを阻止するため、文化庁が昭和39（1964）年1月11日付けで「天草四郎時貞関係資料」として4点一括で重要文化財に指定した（現在陣中旗以外は所在不明）。その後「愛野キリシタン資料館」（長崎県旧南高来郡愛野町）で展示され、資料館閉館後に福岡県太宰府市の個人の所蔵となる。昭和53（1978）年旧本渡市立天草切支丹館に同氏より寄託され、平成7（1995）年に寄贈。

1章-2 旗としての構造

- 布地：中国伝来（？）の白綸子、卍字崩しに菊花の地模様。寸法：縦横108.6cmの正方形。構造：左右2枚の布を中央で継ぎ合わせる。乳：上辺・右側面に各7つ。幅約20mm、長さ約70mm。

1章-3 何が描かれているのか？（図像的特徴）

- 旗上部の文字は古体のポルトガル語。文末に装飾活字を有す。図像は、上からホスティア（聖体／聖餅）、カリス（聖杯）、両側に合掌する二人の天使を配する。旗には裂傷や血痕などが認められる。



装飾活字（左：陣中旗一部拡大）

- 「LOVVADo」: “louvar”（称賛する）の過去分詞。「SEIA」: “ser”（～である）の接続法現在三人称単数。「O」: 男性単数の定冠詞。「SÂCTISSIMO」: 男性形の形容詞“santo”の最上級。「SACRAMENTO」: 秘跡。⇒「いとも尊き聖体の秘蹟は讃えられん」。聖体内部の「INRJ」は、ラテン語の「Jesus Nazarenus Rex Judaeorum（ユダヤ人の王ナザレのイエス）」の各単語の頭文字。

1章-4 光学調査・目視観察による判明事項（2014年文化財保存修復学会第36回大会 武田恵理氏/浅野ひとみ氏/松本博幸氏共同調査・研究成果発表『「陣中旗」の制作・描画技法』より。）

- 天地方向: 経糸。左右方向: 緯糸。裏面: 和紙による裏打ち。布端: 三つ折りにして裏側に縫い付け。乳: 絹製と綿製が交互に縫い付けられる（元来は絹製のみで、補強のため綿製の乳を縫い足したと思われる）。
- 地塗り: なし（目止めや絶縁なしに墨筆で直接布に下描き）。聖杯の輪郭・模様・陰影は伸びやかな線であるのに対し、天使の身体表現には細かな震えが見られることから、天使部分は手本を写した可能性が考えられる。
- 彩色: 薄塗り。聖杯・衣の明部: 藤黄（オトギリソウ科フクギ属の高木樹脂。水に溶かすと黄色系に発色）。赤色: 土性顔料。聖餅の白色: 鉛白。天使の唇の淡赤色: 朱。十字架、右側天使の羽の紫茶褐色: 土性顔料。羽や上衣の緑色: 藤黄と藍の混色。左の天使の下衣: 天然赤色染料。展色材は不明（油性・半油性・ワニスではない）。

2章 いつ・誰が描いたのか？手本はあったのか？

- 左右の天使で線の太さや巧みさが異なることから（右側の天使の方がたどたどしい）、複数人（2～3人）で描いた可能性が考えられる。どちらの天使も修正したような跡が見られることから、画学生が手本を見ながら描いたと思われる。天使の顔の部分は版画の陰影のような斜線（クロスハッチング）で表現されているのに対し、衣や羽の部分は絵具の濃淡で描かれていることから、版画（線による濃淡表現）と油彩か水彩画（色による濃淡）の2種類の手本があった可能性が考えられる。
- モレッリ式鑑定法（19世紀にジョバンニ・モレッリが「耳や目、手などの細かい描写には画家の個性が出てくる」と提言した）で手の描写に着目すると、ふっくらとした手の表現は《マリア十五玄義図》（国指定重要文化財/京都大学博物館蔵）などの初期洋画風の聖画・風俗画と類似。
- ジョバンニ・コーラ（ニコラオ）（1560年頃生まれのイタリア出身の画家でイエズス会士。日本に初めて洋画の技術を伝導した）によって1590年に設立された画学舎（豊後？）は、戦乱を避けながら、1592～1600年に天草の志岐、1601年に有馬、1603年に長崎と転々と移動し、1614年の大追放により消滅する。絵画教育関係の記事によると、画学舎の教師はコーラのほかローマ生まれの氏名不詳の司祭の2人。セミナリオの絵画教師は不明だが、途中からはコーラが兼任していた可能性がある。「都」での絵画教育は行われていなかったらしく、八良尾（島原）のセミナリオで初出。1596年に八良尾のセミナリオが消滅し有馬のセミナリオに合流する。
- セミナリオや志岐（の画学舎）で学んだ画家のうち、イエズス会関係資料に名前が残る者は、ヴァリニャーノによる制度改革以後の画学生であり、1600年前後の南蛮趣味ブームに成熟期を迎えた世代でもある。大きく3つに分類すると、A群は、名前は残っているが作品がわからない人物（マンシオ・タイチク/1574年宇土生まれ ほか）、B群は、イエズス会関係の記録から名前は脱落しているが、日本側の資料には名前が残る人物（山田右衛門作、生島三郎左ほか）、C群は、作品のみ数点現存するが名前が残っていない人物、となる。このC群に属するのが「信方」という名の画家で、作品には洋風紋

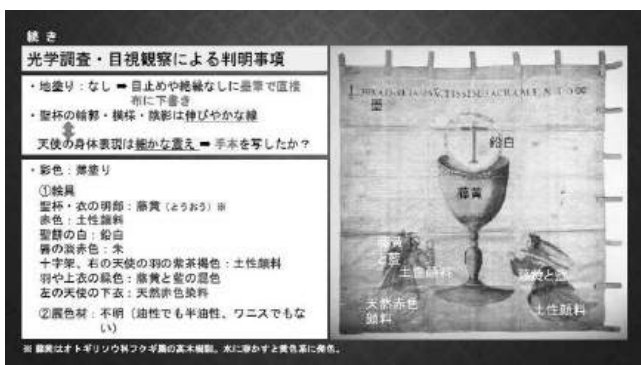
章と「信方」という署名のみが残る。無地の空間に人物を配する東洋的な構成法をとり、寛永・寛文期の初期風俗画と共通する点があることから、初期洋風画のなかでは少し後の作品と考えられる。伝信方作の作品には実在した人物（「日教上人像」）や東洋の伝統的テーマ（「達磨図」）を描いたものもある。この人物はコーラから学んだ可能性が高いが、独立して「信方」と名乗り、弾圧が高まったころには棄教して非キリスト教的作品を制作したと考えられる。

3章 何のために描いたのか？

- 2003年に川村信三氏によって「聖体のコンフラリアの象徴として描かれた」と提言される。コンフラリア（Confraria）はキリスト教信徒の自発的・自主独立運営組織のことで、13世紀にイタリアでその理念と形態が登場した。聖職者からの直接管理や介入なしに、信徒たちが自主的な活動の場とした民衆宗教運動の一形態。1530年に、ローマのドミニコ会の教会であるサンタ・マリア・ソープラ・ミネルヴァ教会内に設立された聖体信心会は、1539年に教皇パウルス3世によって認可されると「聖体大信心会」として様々な聖体信心会を統合。16世紀の日本のキリシタンの間でも同会の活動が活発になった。それは陣中旗の図像や日本に多数残る「聖体の秘蹟」のメダイの存在からも証明される。

結論

- **いつ：**コーラや主要な画家がマカオに渡った後で、島原・天草一揆が起こる前（1614年より後～1637年より前の寛永期）⇐陣中旗の聖杯部分の線は伸びやかで晴朗な表現で、緊迫感がない。
- **誰が：**コーラの画学舎の画学生でセミナリオの主要画家がマカオに移って以降も九州（有馬か長崎）にとどまった日本人画家。聖体のコンフラリア（信心会）に属していた可能性も？⇐最初期の初期洋風画より伝信方作や寛永・寛文期の初期風俗画の表現に類似。
- **どこで：**九州（有馬か長崎の画学舎かセミナリオ、聖体信心会本部か信徒宅）⇐コーラが絵画技法を教えたのは九州。しかし志岐時代より後と考えられる。
- **何のために：**聖体のコンフラリアの象徴（信心会の祭事に使用するため？）⇐木綿の乳は後補。
- **手本：**版画や絵画（小品）、コーラら画学舎の教師が描いた手本。⇐イエズス会資料が証言、先行研究も指摘。



「原城における一揆勢の籠城～発掘や史料から～」

講師：南島原市教育委員会参事(学芸員)伊藤 健司氏

はじめに

いわゆる天草四郎陣中旗の重文指定 60 周年ということで、保存活用に長年ご尽力されている地元の皆様に敬意を表したい。また南島原市と特別な歴史を共有する天草での発表は感慨深く、貴重な機会を頂いたことに感謝を申し上げる。昨夏の全国城郭研究者セミナーで島原・天草一揆における原城攻めを紹介したが、その際、多分に天草市発行の『原史料で綴る天草島原の乱』を引用させて頂いた。全国の研究者の方々も、天草では膨大な史料が丹念に整理されていることを感心されていたことを紹介したい。本日はその際の発表と共通する部分も多く、地元の方々であればご存じの点が多いかも知れないが、ご寛容を願いたい。

1. 原城概要

- 原城は、城域と幕府軍が構築した「仕寄場」を含む約 48 万㎡の広大な面積が国史跡となっている。曲輪（城の中につくられた一つの区画のこと）の分散傾向も城の広さに影響している。本丸の石垣は織豊系城郭の特徴の一つ。本丸に続く通路である「虎口」が非常に広く設計されており、正門から本丸に至るまで9回ほど折れ曲がる。他の城郭と見比べてもかなり嚴重である。本丸西側には「櫓台」、東側には「搦手」（城の裏方のこと）である「池尻門（蓮池門）」の遺構が残る。

2-1. 島原・天草一揆の勃発と島原城攻め

- 一揆の要因として、松倉氏（島原）のキリシタン弾圧や苛烈な圧政、飢饉などにより、農民たちの不満が頂点に達していた背景がある。寛永 14 年 10 月 24 日、有馬村（島原）のキリシタンによる代官林兵左衛門の殺害を機に一揆が勃発（『林小左衛門覚書』/寛永 14.10.25/島原図書館蔵）。翌 26 日には、益田四郎（天草四郎）が 1,500 人余りを引き連れ島原城の大手筋まで攻め寄せ、城下町を焼きながら大手門まで迫るも、落城には至らず徐々に後退して廃城となっていた原城へ籠城（『佐野弥七左衛門覚書』/寛永 14.10.26/島原図書館蔵）。これと連動して天草でも一揆が拡大、富岡城攻めが行われた。

2-2. 原城への籠城と武器弾薬・兵糧の搬入

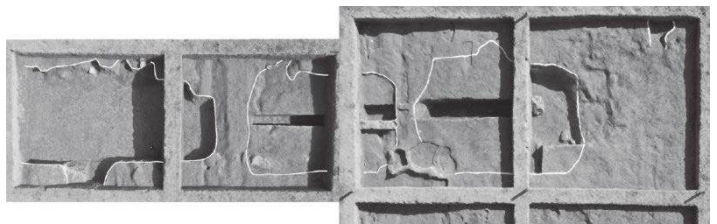
- 籠城の際、一揆勢は口之津にあった藩の倉庫などから米や武器・弾薬を奪って原城に持ち込んだ。「賊原城二籠ル」（『嶋原半島史』より。元は軍記物「耶蘇天誅記」からの引用のため同時代性には課題が残るものの、具体的に内容が記されているため紹介）によると、12 月 1 日に各村の米を運び、口之津の藩倉庫から貯蔵米 5,000 石、小銃 530 挺と弾薬などを奪い、原城に運んだ。城内には、約 10m ごとに投石用の石を 100 個ほど準備し、8～10m ぐらいの間隔で 鉈 や長刀を配置、堀には敵を射るための弓をのせている。他の同時代資料を見比べても城内に 500 挺程度の鉄砲や弾薬があったと確認できる。

2-3. 原城の防衛施設について

- 一国一城令により廃城となっていた当時の原城は、家屋や堀などは残っていないものの、本丸には石垣がそのまま残る（『鈴木三郎九郎より大阪衆へ』（嶋原日記）/寛永 15.1.7）など、十分に軍事利用が可能な状態であった。一揆勢は近くの樹林を植え替え高さ 2m ほどの垣をつくり、日野江城の大竹を材料に堀を作って内面には舟板をあてて補強を行った（『賊原城二籠ル』/『嶋原半島史』より）。一般的に日本の城は外側に堀、内側に堀を構えるが、原城ではその逆で、堀の裏に幅約 4m 深さ約 2m の堀を設けたような記録がある（『城よりの落人申口』（切支丹蜂起覚書）/寛永 14.12.25、「久留米藩有馬忠卿書状」（久留米藩有馬陣日記）/寛永 14.12.26）。鈴木三郎九郎（鈴木重成）の報告では、堀の高さは 2.7m 強で内側を竹で補強し、土俵で高さ約 1.5m の分厚い

土手を築いていた。また堀から 2m ほど離し、断面が逆台形になる「箱堀」と呼ばれる堀を 2.1～2.4 m ほどの深さでほっていたと伝える。

- 2023 年の発掘調査により発見された堀跡の状況から、一揆が起こった後すぐに埋められたことがわかった。しかし、深い部分でも 1m ほどとかなり浅いことから、後世の地形改変を受けて地面が切り下げられていると考えられる。本来の形状については検討中である。
- 細川家の報告には、「吊井楼」（文字資料としては戦国時代から記録が残るものの、実戦の使用状況が絵図に描かれた例は原城以外では不明。）を使って城内の様子をうかがったことが記されており、堀際から 4m ほど離れたところにジグザグの堀が一重ある様子が伝えられる（「細川忠利より豊後横目衆へ」（綿考輯録）/寛永 15.2.6、「肥前国有馬城之絵図」（松井家文書 4011）/熊本大学附属図書館蔵）。ジグザグとした理由は防御性能の向上と推定する。城郭研究会の報告では大砲を撃ち込まれた際の飛散物被害の軽減のためという意見もあった。今後、検証を進めたい。
- 幕府軍は原城を攻めにくい地形と認識していた（「大阪衆より堀市正外三名へ」（天草陣雜記）/寛永 15.2.9）。原城は北・東・南の三方が海で海上も封鎖され、仕寄場が構築された「塩濱」^{しおはま} 一带は、沼のような海浜性の湿地帯が入り込み、城は疑似的な浮島のような立地になっていたと考えられる。



原城二ノ丸検出竪穴遺構群

2-4. 第二次上使着陣以前の原城攻め

- 第一次上使の板倉重昌は、原城に対し三回の大規模な攻撃を仕掛けた。12 月 10 日、原城へ鉄砲攻めを行うも、反撃により失敗（「上使衆より大阪衆へ」（岡山藩聞書）/寛永 14.12.11）。12 月 20 日、伊佐早豊前守が松山丸（天草丸）を攻めるも落とせず大きな人的被害を出す（「島原藩日帳（抄）」（『島原半島史』）/寛永 14.12.20 島原一乱（松倉）家中前後日帳覚（抄）寛永 15 年元日、重昌自ら攻め込むも鉄砲で深手を負い討死。手負い・死者多数出（「石谷十蔵等より幕府年守衆へ」（久留米・有馬陣覚書）/寛永 14.12.20）。

2-5. 第二次上使衆の攻城方針に関すること

- 寛永 15 年 1 月 4 日、有馬に到着した第二次上使衆は、有馬への到着、原城周辺の戦局を見極めていること、元日の総攻撃が失敗に終わったことを大坂に伝えている。また築山や城楼^{せいろう}から大筒や石火矢で攻撃しているが、何れも原城より低いため、城を見下ろす規模でさらに 4・5 か所増築し、城内がくたびれるほどの攻撃を指示したとある（「上使衆より大阪衆へ」（嶋原日記）/寛永 15.1.4）。
- 1 月 7 日、城の周りに厳重な柵を設置し一揆がまぎれ出ないように寄せ衆へ指示が出された（「鈴木三郎九郎より大阪衆へ」（嶋原日記）/寛永 15.1.7）。千田嘉博^{せんた だ よしひろ}氏によると、柵を二重にして両端は海中に達するほど徹底した物理的封鎖を行い、諸大名の陣を横に結ぶ連絡道としての機能をもたせた。また、柵で区分された安全な後方陣地を確保し、仕寄りを前進させ原城へ迫ったと指摘している。最前線の城楼への通路は、原城からの射撃を防ぐため、柵と竹束を組み合わせたジグザグの連絡路を設け、後方には大砲の砲座を設置し前線の仕寄りを支援したとする（「肥前国有馬城之絵図」）。
- 2 月 1 日付の書状には、幕府軍が 10 万人を超える大軍勢になっていること、竹束やたて、柵の厳重な設置などが記され、第二次上使衆の松平信綱と戸田氏鉄から兵糧攻め（干し殺し策）の指示があったことが伝えられる（「長谷川源右衛門留書」（大河内家記録）/寛永 15.2.1）。

2-6. 幕府軍の^{へいたん}兵站（物資や兵員を補給・輸送・管理する後方支援のこと）について

- 第二次上使着陣から間もなく、熊本藩家老が留守衆へ竹束用の竹 5,000 束、土俵 6 万俵、縄用の^{かすら}葛 3,000 束、柵木 5,000 本を急いで送るよう指示。土俵は山二つを使うこと、柵木は宇土の山から調達し、郡浦・三角の港から船で運ぶよう調達場所や輸送ルートも指示している（「熊本藩両家老より留守衆へ」（新撰御家譜）/寛永 15.1.7）。同じ熊本でも、玉名や水俣など各地から原城へ木材が運ばれた。資材調達は現地だけでは追いつかず、国元にも応援を要請していた。佐賀藩の書状には、角木や丸太を調達する山が遠くなり苦心している旨が記されている（「佐賀藩諸岡彦兵衛への状」（勝茂公譜考補）/寛永 15.2.4）。仕寄を増築しながら攻めるため、なかなか木材の充足には至らなかった。
- 当時はネズミの糞を^{しょうせき}硝石や硫黄に混ぜて火矢の^{しょういざい}焼夷材としており、細川家文書には、熊本の町中からネズミの糞を五升（約 9L）差し出すよう求めた記録があり、前線以外での苦勞が感じ取れる（「細川家文書の日帳 寛永 15.1.13 の記録より」（熊本大学永青文庫研究センター編『細川家文書 島原・天草一揆編』）。このことは 1 月 13 日時点ですでに火薬が不足し、原料集めをしなければ間に合わない状況を示しており、原城攻めの^{すさ}凄まじさと大量の火薬消費を物語っている。
- 原城攻めの特徴として、幕府軍がオランダ商人から武器や弾薬などを調達したことがあげられる。平戸オランダ商館長ニコラス・クーケバッケルの日記には、約 30～36 t もの火薬のやり取り（寛永 14.12.13 付）や、最も大型で整備された大砲の提供（寛永 15.1.2）などが記されている。オランダ商人が協力的だったのは、日本と有利に貿易を進めるための関係強化が目的であり、一揆終結からほどなくポルトガルは日本から締め出され、オランダがほぼ独占的に日本と貿易を行った。

2-7. 原城攻めの戦術について

- 原城の三ノ丸あたりや鍋島藩の仕寄りからトンネル（金ほり）を掘って原城内に攻め込む作戦もとられた（「金堀り」（池田家・島原陣覚書）/金井 15.2.1）。

2-8. 一揆勢の信仰に関すること

- 落人の中には、キリシタンに成らない者は殺されるので、キリシタンに成って城に立てこもっていると証言する者もいる（「城よりの落人申口」（切支丹蜂起覚書）/寛永 14.12.25）。一揆への強制参加とともに信者になること（立ち返り）を強要された人もおり、一揆勢の信仰は一枚岩ではなかった。一方で、女性たちまでたすきを掛け、額にクルス（十字架）をあて、鉢巻きをして石つぶてを雨のように投げつけたので幕府軍もひるんだという記録も残る（「鈴木三郎九郎より大阪衆へ」/寛永 15.1.7）。信仰具が心の拠り所であったことや、女性たちが前線で戦う場面があったことは重要である。
- 2023 年の発掘調査で検出した原城二ノ丸の堅穴内部からは、カマドのような機能を持つ施設が 4 基見つかった。原城の中で火を使った痕跡の確認は、過去の本丸の調査を含めて初である。堅穴の床面からは、鉛製砲弾と十字架、コイン型の製品を作るための鋳型などが出土した。二ノ丸の他の地点からはコイン状の鉛製品も出土しており、中には十字を刻むものもあるため信心具の一つと考えられる。原城で出土する鉛製の銃弾と十字架は、成分や重さの類似から、武器から信心具への再加工を指摘する仮説があったが、今回の調査状況を踏まえると、ほぼ間違いないと思われる。信仰による結束を高めるため、城内で信心具を制作し配っていたと想像する。
- 寛永 15 年 2 月 1 日付けで益田四郎の名で出された「四郎法度書」（永青文庫蔵）には、籠城して幕府軍と戦うことも神への奉公であること、今が後生の救済を受けられるかの分岐点にあること、城内の者は後世まで友達であるため指導に従い行動すること、理由を付けて城外に出て投降しようとするもの

を固く取り締まることが示されている。法度書通達の背景には、矢文での切り崩しによる城内の動揺や投降者の増加があり、城内の引き締めを図る目的で出されたと考えられる。悲壮な覚悟や幕府軍との交渉に妥協の余地がない対決姿勢が打ち出されており、一揆勢の命運を決定づけたと評価される重要資料である。

2-9. 原城への総攻撃と落城

- 2月24日付け書状では、海藻類すらも満足に調達できていない状況が伝わり（「上使より大阪衆へ」（嶋原日記）/寛永 15.2.24）、原城から出てきた女性と子どもたちも城内に食料がないことを証言（「長谷川右衛門留書」/寛永 15.2.26）、厳しい食料事情がうかがえる。2023年度の発掘調査では、一揆勢が使用したと考えられる「石錘」（石製の漁網用のおもり）が出土。また、燃料不足が一番深刻であり、籠城小屋の柱を抜いて薪にしていたとする（「大阪衆より堀市正外三名へ」（天草陣雜記）/寛永 15.2.9）。
- 2月24日、城内の疲弊をふまえ、26日が好天なら火矢を放って二ノ丸を焼き払うこと、卯の刻（午前5～6時ごろ）に鐘や太鼓、ほら貝を鳴らしてたて続けに射撃をし、強い掛け声をあげて火矢を放つこと、一揆勢と見分けがつくように刀や脇差しには紙で三巻きの目印をすること、合言葉として「くに」と問われれば「くに」と答えること、味方の後ろから鉄砲を撃たないこと、火矢を使うので悪天ならば攻撃の順延など、総攻撃の日取りが決められた（「細川忠利島原陣法度書」（熊本県史料中二高田文書）/寛永 15.2.24）。26日が雨だったため28日に延期されたものの、27日に鍋島勢が抜け駆けて二の丸の出丸に乗り込んでしまい、なし崩し的に原城への突入戦が開始、壮絶な殲滅戦の末28日には本丸が落ち戦闘は終結。一揆勢と幕府軍の戦力差は大きく、いかに堅牢な原城前線を突破して大量の兵士を城内に送り込むかが幕府軍にとっての焦点だったといえる。戦闘終結の翌日から原城の本格的な解体作業が開始、一揆勢の遺体は壊された石垣とともに埋められた。

2-10. 幕府軍の統制に関すること

- 大阪の陣から20年以上が経過し、幕府軍の大半は戦の経験がなく、臨時的に編成された諸大名の連合軍である。規模も10万人以上の大軍であるため、その統制はかなり難しかったといえる。第一次上使の板倉重昌のときに出された掟書には、乱暴狼藉を働いたり竹木を切り取る者がいたら見つけ次第切り捨てること、女性や子どもは敵対しない限り斬ってはならないことなどが通達されている（「上使掟書」（勝茂公譜考補）/寛永 14.12.5）。信綱着陣の翌日には、城攻めと関係のない里山に火をつけて人家を焼かないことなどが指示されている（「軍令の覚」（新撰御家譜・忠利公論）/寛永 15.1.5）。このように、幕府軍が公正で厳格な規律を伴って一揆の鎮圧を行おうとしていた点に着目したい。

まとめにかえて

様々な視点でお話ししたが、島原・天草一揆が江戸時代最大の内乱であり幕府の支配政策に影響を与えたことや、原城攻めが戦国以来の城攻めの集大成という評価に変わりはない。ただ一揆側、幕府側、いずれの視点で見るかによってかなり見え方が異なるという点だけは、あらためて強調したい。今回は天草四郎陣中旗の重文指定60周年の関連でお招き頂いたが、原城になぞらえると2038年に国史跡指定100周年という節目を迎える。この年は他にも重要な節目が重なっていて、天草の崎津集落もあわせて世界遺産登録20周年となる。また崎津教会の最初の建設からは150年にもあたるようである。最も重要なのは島原・天草一揆が集結してちょうど400年、つまり非常にづらい一揆を経験した天草と南島原がともに再スタートを切って400周年の節目ということになる。その際には、相互に協力して何か有意義なことを行いたいし、それを待つまでもなく、参加者の皆様とお互いに健在で、またお目にかかれたら幸いである。

4. 施設概要・担当職員

●キリシタン資料館4館の施設概要

施設名	天草キリシタン館	天草ロザリオ館
所在地	熊本県天草市船之尾町 19-52	熊本県天草市天草町大江 1749
開館年月日	1966 年(昭和 41) 8 月 1 日※旧本渡市立天草切支丹館 2010 年(平成 22) 7 月 1 日リニューアルオープン	1988 年(昭和 63) 4 月 23 日
構造	鉄筋コンクリート造地上 2 階建	鉄筋コンクリート造地上一部 2 階建
施設面積	1 階 383.91 m ² 2 階 613.87 m ²	1 階 482.55 m ² 2 階 129.17 m ²
開館時間	8 時 30 分～17 時 00 分(最終入館 16 時 30 分) ※令和 7 年 4 月 1 日から 9 時開館	8 時 30 分～17 時 00 分(最終入館 16 時 30 分) ※令和 7 年 4 月 1 日から 9 時開館
休館日	火曜日(祝日の場合翌平日)※天草四郎陣中旗公開期間中は開館/ 12 月 30 日～1 月 1 日	水曜日(祝日の場合翌平日) /12 月 30 日～1 月 1 日
施設写真		
施設名	天草コレジヨ館	崎津資料館みなと屋
所在地	熊本県天草市河浦町白木河内 175-13	熊本県天草市河浦町崎津 463
開館年月日	1990 年(平成 2) 5 月 12 日 2013 年(平成 25) 11 月 30 日 リニューアルオープン	2016 年(平成 28) 8 月 1 日
構造	鉄筋コンクリート造一部 2 階建	木造 2 階建
施設面積	1 階 921.75 m ² 2 階 511.91 m ²	1 階 93.66 m ² 2 階 96.57 m ²
開館時間	8 時 30 分～17 時 00 分(最終入館 16 時 30 分) ※令和 7 年 4 月 1 日から 9 時開館	9 時 00 分～17 時 00 分(最終入館 16 時 30 分)
休館日	木曜日(祝日の場合翌平日) /12 月 30 日～1 月 1 日	12 月 30 日～1 月 1 日
施設写真		

●文化課世界遺産・キリシタン資料館系の職員

観光文化部 文化課	世界遺産・キリシタン資料館係				
課長 小川 隆基	係長 松下 慎司				
	参事(学芸員) 中山 圭				
	参事 秋輪 麻由				
	学芸員 稲津 貴久				
天草市立キリシタン資料館	天草キリシタン館	天草ロザリオ館	天草コレジヨ館	崎津資料館みなと屋	
館長 平田 豊弘	坂本 みゆき	小崎 弘幸	出永 美喜男	齋藤 幸子	
副館長 番田 好美(～7/31)	立石 綾	田中 令子	梅田 いつ子	住友 里恵	
中村 一弘(9/1～)	中上 あずさ	平畑 恵美	上窪 留美	福岡 拓文	
	本田 稔	松本 泰博(～9/30)	松尾 幹枝	堀口 文子	
	松本 眞由美	宮崎 美根子	八谷 小百合	丸山 淳	
	明瀬 純一	醒井 恵子(10/1～)		森 永寿	
	宗像 秀明				

5. 天草市立キリシタン資料館条例

(設置)

第1条 天草におけるキリシタンの歴史と文化に関する調査研究を行うとともに、これらに関する資料の収集並びに保存・展示及びこれらに関する情報の発信及び啓発を行うことにより、学術文化の発展並びに地域及び観光の振興に寄与するため、天草市立キリシタン資料館（以下「キリシタン資料館」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 キリシタン資料館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
天草キリシタン館	天草市船之尾町19番52号
天草ロザリオ館	天草市天草町大江1749番地
天草コレジヨ館	天草市河浦町白木河内175番地13
崎津資料館みなと屋	天草市河浦町崎津463番地

(職員)

第3条 キリシタン資料館に館長その他必要な職員を置く。

(休館日)

第4条 キリシタン資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、市長は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

名称	休館日	
天草キリシタン館	毎週火曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後において最も近い休日でない日）	1月1日並びに12月30日及び同月31日
天草ロザリオ館	毎週水曜日（その日が休日に当たるときは、その日後において最も近い休日でない日）	
天草コレジヨ館	毎週木曜日（その日が休日に当たるときは、その日後において最も近い休日でない日）	
崎津資料館みなと屋	無休	

(利用時間)

第5条 キリシタン資料館の利用時間は、規則で定める。

(利用の制限)

第6条 市長は、キリシタン資料館を利用しようとする者が次のいずれかに該当するときは、キリシタン資料館の利用を許可しないことができる。

- (1) その利用が公の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) その利用が集团的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認めるとき。
- (3) その利用がキリシタン資料館の施設又はその附属設備を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、キリシタン資料館の管理運営上支障があるとき。

(観覧料)

第7条 キリシタン資料館の観覧料は、別表のとおりとする。

2 前項の観覧料は、前納するものとする。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、観覧料を後納させることができる。

（観覧料の減免）

第8条 市長は、特に必要があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

（指定管理者による管理）

第9条 キリシタン資料館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

2 前項の規定によりキリシタン資料館の管理を指定管理者に行わせる場合にあっては、指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

(1) キリシタン資料館の施設に係る管理及び運営に関する業務

(2) 前号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める業務

3 第1項の規定によりキリシタン資料館の管理を指定管理者に行わせる場合は、第4条ただし書中「市長は、必要があると認めるときは、」とあるのは「指定管理者は、必要があると認めるときは、市長の承認を得て」と、第6条及び第7条第2項中「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

（利用料金）

第10条 市長は、第7条の規定にかかわらず、前条第1項の規定によりキリシタン資料館の管理を指定管理者に行わせる場合には、当該指定管理者にキリシタン資料館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を収受させることができる。

2 利用料金の額は、別表に定める額を上限として、指定管理者が市長の承認を得て定める額とする。

（利用料金の減免）

第11条 指定管理者は、前条の規定により利用料金を当該指定管理者の収入として収受させる場合に限り、市長の承認を受け、利用料金を減額し、又は免除することができる。

（損害賠償）

第12条 利用者は、キリシタン資料館の施設又はその附属設備に損害を与えた場合において、原状回復ができないときは、市長が相当と認める損害額を賠償しなければならない。

（運営委員会の設置）

第13条 キリシタン資料館の適正な運営を図るため、天草市立キリシタン資料館運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（所掌事務）

第14条 委員会は、キリシタン資料館の管理運営に関し、市長の諮問に応じて、次に掲げる事項について審議し、市長に対し答申する。

(1) キリシタン資料館の運営並びに資料の収集、保管及び展示に関すること。

(2) 前号に掲げるもののほか、キリシタン資料館の運営を円滑に行うために必要な事項に関すること。

（組織）

第15条 委員会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1) 識見を有する者

(2) 学校教育及び社会教育に関係する者

(3) 観光振興及び地域振興に関係する者

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長が適当と認める者

（委員の任期）

第16条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

資料5. 天草市立キリシタン資料館条例

(委員長及び副委員長)

第17条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第18条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員長は、会議の議長となる。

3 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

4 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第19条 キリシタン資料館の管理運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

別表(第7条関係)

展示の種別	区分	観覧料(各館1人1回につき)					
		個人			20人以上の団体		
		一般	高校生	小学生 中学生	一般	高校生	小学生 中学生
常設展	天草キリシタン館	300円	200円	150円	240円	160円	120円
	天草ロザリオ館	300円	200円	150円	240円	160円	120円
	天草コレジヨ館	300円	200円	150円	240円	160円	120円
	崎津資料館みなと屋	100円			80円		
特別展	全館	展示に要する経費を勘案し、市長がその都度定める額					

(備考) キリシタン資料館を利用する者が、最初の利用日から7日以内にキリシタン資料館を3館以上利用する場合の常設展の観覧料は、この表に定める観覧料の金額にかかわらず、次に掲げる利用者の区分に応じ、(1)から(3)までに定める金額とすることができる。

(1) 一般 600円(20人以上の団体にあっては、1人につき500円)

(2) 高校生 400円(20人以上の団体にあっては、1人につき300円)

(3) 小学生及び中学生 300円(20人以上の団体にあっては、1人につき250円)

令和6年度(2024年)

天草市立キリシタン資料館 年報
ANNUAL REPORT No.6
2024.4-2025.3

編集・発行 天草市観光文化部文化課
世界遺産・キリシタン資料館係
☎0969-32-6784
〒863-8631 熊本県天草市東浜町 8-1

発行日 2025年6月30日

印刷 株式会社印刷センター
☎0969-28-6700
〒863-2114 熊本県天草市五和町城河原 2-73

